

第2四半期決算説明会

44期(2012年3月期)

大研医器株式会社

2011年11月9日

代表取締役社長 山田 圭一

目次

I .2012年3月期 第2四半期決算概要

II .2012年3月期 通期業績予想・成長戦略



I . 2012年3月期 第2四半期決算概要

業績の概要

(単位:百万円)

	2011年3月期 (2Q実績)		2012年3月期 (2Q実績)		前年同期比
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	増減
売上高	2,963		3,103		140 4.7%
売上総利益	1,431	(48.3%)	1,530	(49.3%)	99 6.9%
販管費	955	(32.3%)	1,095	(35.3%)	139 14.6%
営業利益	475	(16.1%)	435	(14.0%)	△40 △8.5%
経常利益	463	(15.6%)	439	(14.2%)	△23 △5.1%
当期純利益	268	(9.0%)	68	(2.2%)	△199 △74.3%

□売上構成(商品群別)の推移

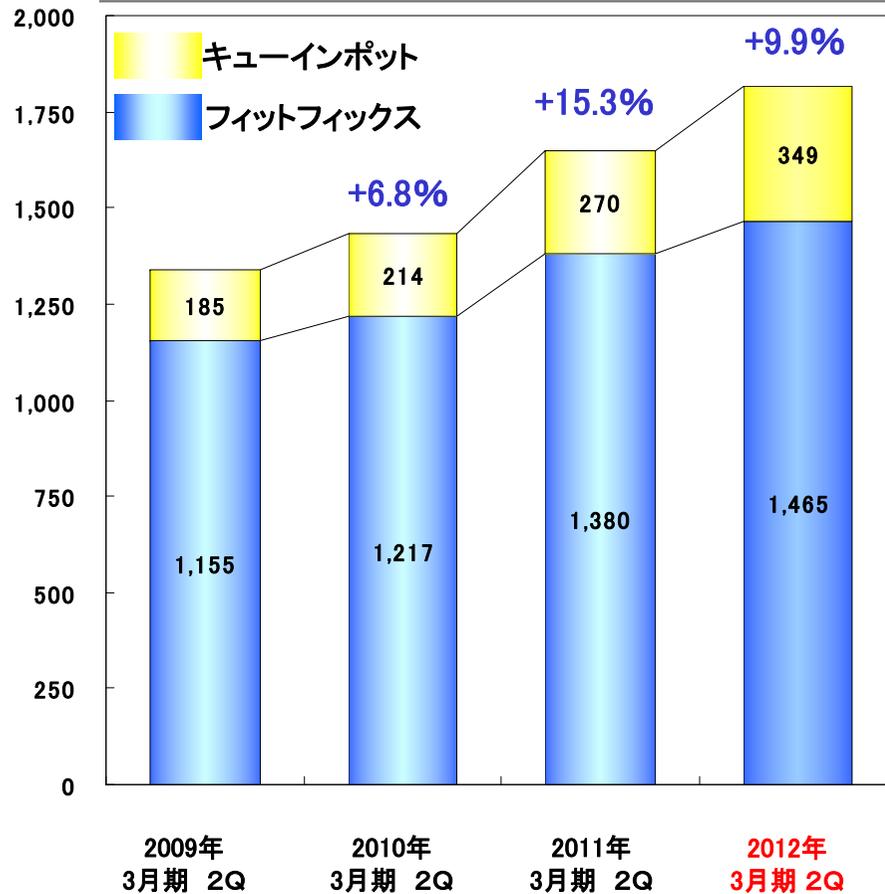
キューインポットが牽引

(単位:百万円)

	2011年3月期 (2Q実績)		2012年3月期 (2Q実績)		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	増減率
フィットフィックス関連 (キューインポットのみ)	1,651 (270)	55.7% (9.1%)	1,815 (349)	58.5% (11.3%)	9.9% (29.0%)
シリンジェクター関連 (PCAセットのみ)	814 (547)	27.5% (18.5%)	819 (572)	26.4% (18.5%)	0.6% (4.5%)
電動ポンプ関連	32	1.1%	30	1.0%	△7.3%
手洗い設備関連	313	10.6%	291	9.4%	△7.1%
その他	151	5.1%	148	4.7%	△2.3%
合計	2,963	100.0%	3,103	100.0%	4.7%

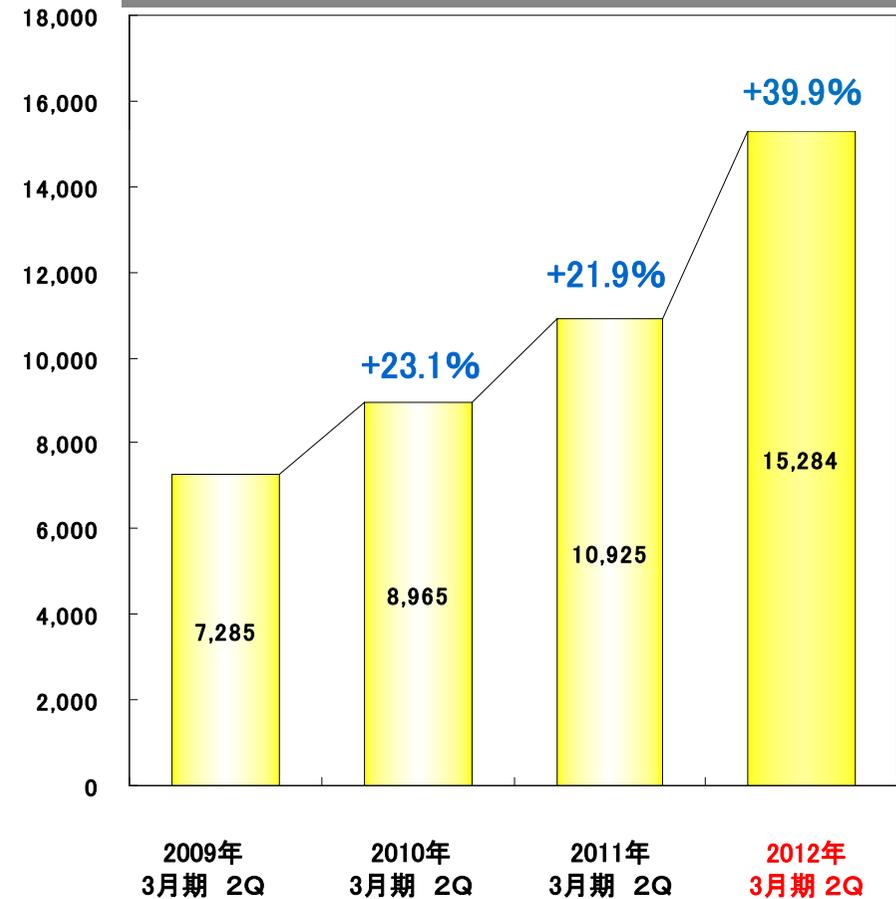
《フィットフィックス関連》

【 売上金額 】 (単位:百万円)



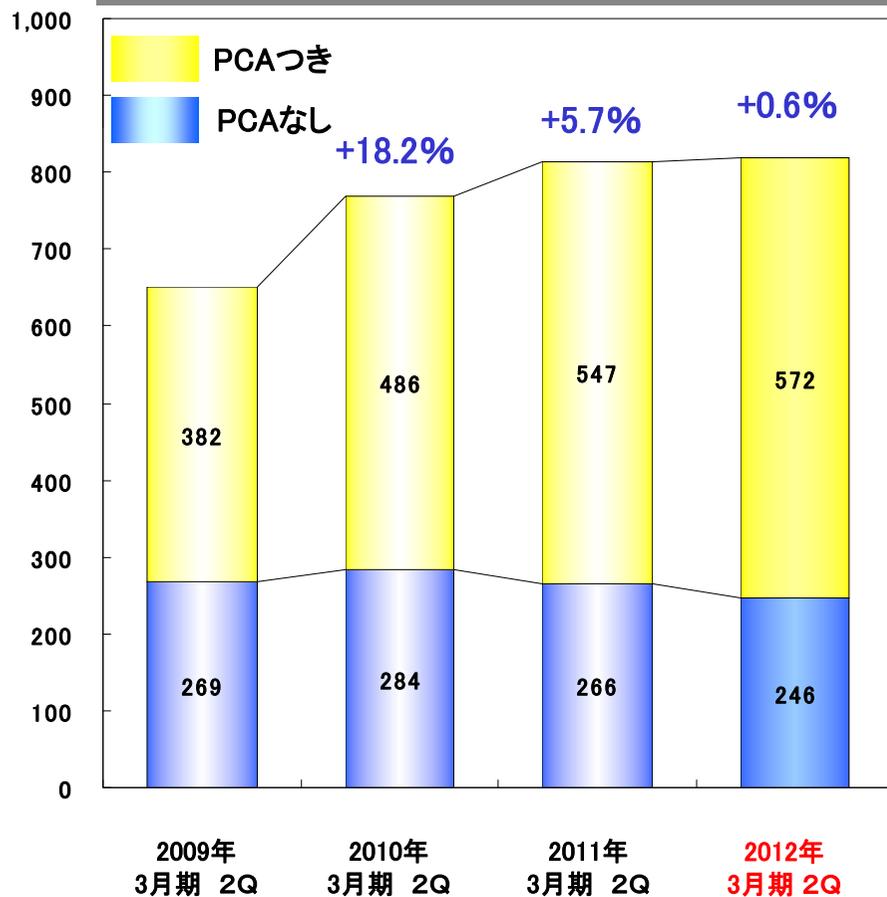
【 キューインポットライナー販売数量 】

(単位:ケース)

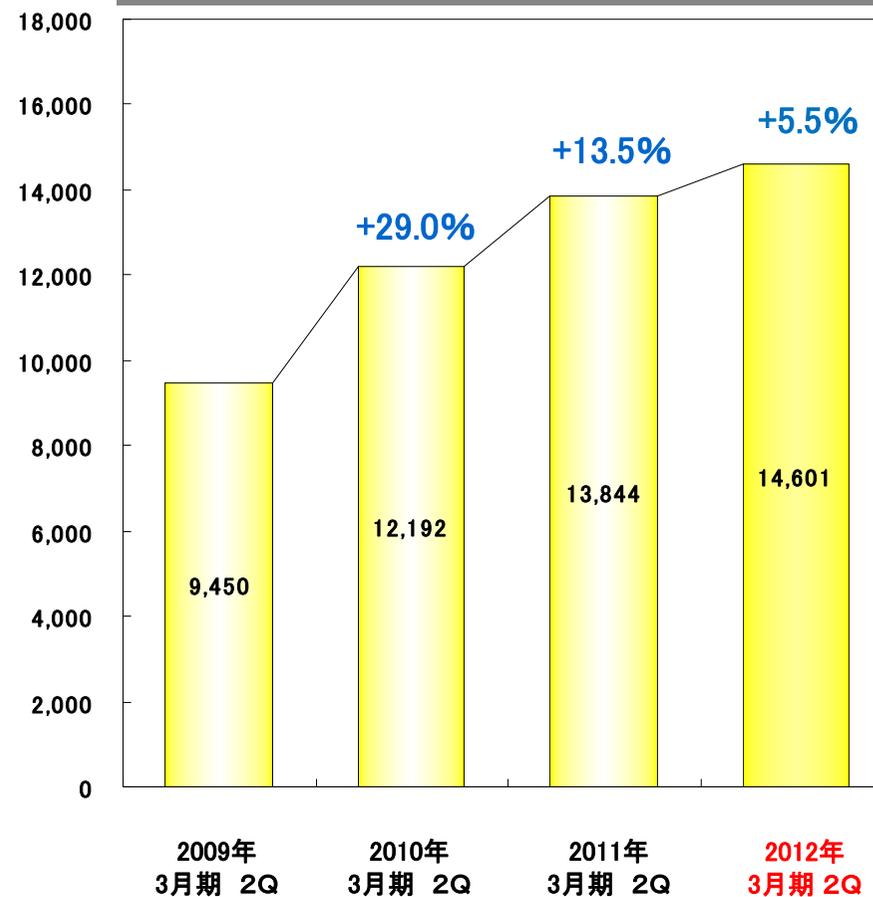


《シリンジェクター関連》

【 売上金額 】 (単位:百万円)



【 PCAつきシリンジェクター関連販売数量 】 (単位:ケース)



□ 財政状態（貸借対照表主要科目）

（単位：百万円）

	2011年3月期	2012年3月期 第2Q	増減	主な変動要因
現金預金	1,498	1,272	△226	一時的な預金水準の取り崩し
受取手形、売掛金	2,370	2,004	△366	回収サイクルの見直しによる売上債権の減少
たな卸資産	803	1,134	330	売上拡大に向けた在庫増加
固定資産（有形・無形）	2,626	2,601	△25	
その他	561	381	△179	
資産合計	7,861	7,394	△467	
支払手形、買掛金	935	946	10	支払サイクルの見直しによる仕入債務の増加
短期・長期借入金	1,528	1,766	237	
未払金・未払費用	433	330	△103	
その他	814	292	△522	役員退職慰労引当金の減少 459
負債合計	3,712	3,334	△377	
純資産合計	4,149	4,060	△89	当期純利益 68、配当金 △162
負債・純資産合計	7,861	7,394	△467	



Ⅱ. 2012年3月期 通期業績予想・成長戦略

□ 2012年3月期通期業績 & 配当

2012年3月期も増収増益基調で推移

	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (見通し)	増減率
売上高	6,242百万円	7,000百万円	12.1%
営業利益	974百万円	1,190百万円	22.1%
経常利益	951百万円	1,120百万円	17.7%
当期純利益	555百万円	474百万円	※ △14.6%
1株当たり配当額	22.0円	23.0円	4.5%

※役員退職慰労金制度廃止・打切支給に伴う繰延税金資産の取崩し(法人税等の増)により
前年度を下回る見通しとなっております。

□2012年3月期商品群別売上見通し

キューインポット拡大・新製品投入による増収効果

	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (見通し)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減比 (%)
フィットフィックス 関連 (キューインポットのみ)	3,500 (615)	56.1% (9.9%)	3,973 (885)	56.8% (12.6%)	13.5% (43.9%)
シリンジェクター 関連 (PCA セットのみ)	1,672 (1,136)	26.8% (18.2%)	1,974 (1,411)	28.2% (20.2%)	18.1% (24.2%)
電動ポンプ 関連	146	2.3%	168	2.4%	15.10%
手洗い設備 関連	652	10.5%	605	8.7%	△7.1%
その他の	271	4.3%	278	3.9%	2.4%
合計	6,242	100.0%	7,000	100.0%	12.1%

□ 今後の成長戦略

① 既存領域

現存市場の強化・拡大

<フィットフィックス関連>

◇改良キューインポット ----- 徹底した普及拡大(国内・海外)

<シリンジクター関連>

◇**新型PCA装置 (2011.10上市)**

----- IV対応・「疼痛緩和領域」の拡大

◇**A.O(Air Operation)フューザー(研究段階)**

----- 新技術による様々な薬液対応及びプレフィルト化

<その他>

◇**新型シリンジポンプ (2011.5上市)**

----- 操作性・安全性・視認性向上及びメカトロ技術蓄積

◇**分離肺換気用ダブルルーメンチューブ**

----- 「胸部手術麻酔(分離肺換気)領域」の拡大

② 新領域

医科領域拡大

これまでに確立した麻酔科との信頼関係を手がかりに救命救急、外科等の新領域に進出する

◇**咽頭冷却装置(2011.10院内用薬事承認申請完了)**

----- 「救命救急」領域への進出

救急用の開発も順調な進捗

◇**化学療法用バルーンジェクター (2011.11上市)**

----- 「がん治療(内科・外科等)領域」への進出

◇**低侵襲治療用具**

----- 首都圏に低侵襲治療用具の研究開発拠点を設立(2011.4)

③ 海外展開

海外市場

新商材マーケティングを重点的に行い世界戦略機となりうる商材の市場投入を加速し、海外展開を積極的に推進

海外生産

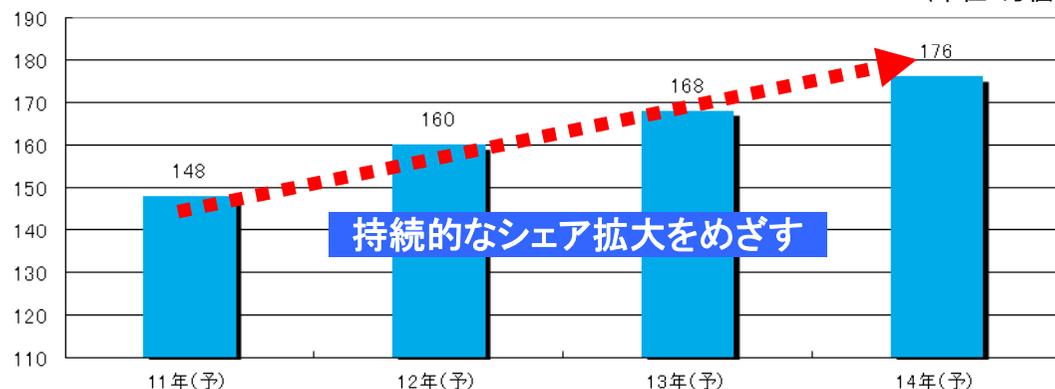
アジア生産を拡充し、安定供給と積極的なコストダウン(3年で20%内外)を図る

□ IV対応・「疼痛緩和領域」の拡大

新型PCA (Patient Controlled Analgesia) 10月1日に上市

国内インフューザー(疼痛緩和領域)市場推移(数量)

マーケット全体が每期継続的な伸びを予測 (単位: 万個)



出典:「2010年版汎用品市場の将来展望」
(矢野経済研究所)より当社推定



特願出願中「注入用具及びこれを備えた薬液注入システム」等

新型PCA

各種PCAポンプの性能比較

	シリンジェクターPCA(新型PCA)	電動式PCA (※)	他社のディスポポンプ
携帯性	優れる	やや劣る(重たい・電源必要)	優れる
ボタン操作感	よい	よい	悪い(硬い)
PCA使用履歴	確認可能	確認可能	不可能
注入誤差	比較的小さい(他のディスポより正確)	小さい	大きい
病院の経済負担	少ない	大きい(初期投資・減価償却費)	少ない

※1 電動式PCAはプログラム操作負荷がかかる

※2 電動式PCAは特定保健医療材料の対象とならない

□ 「がん治療(内科・外科等)領域」への進出

化学療法用バルーンジェクター11月8日に上市



外来、在宅での抗がん剤治療に

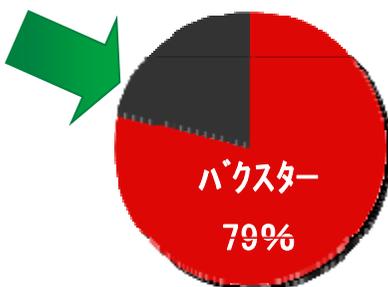
- (m)FOLFOX6、FOLFILI療法などの化学療法に最適な商品仕様です。
- より患者さまの安全に配慮し、可塑剤DEHPを含まないチューブを採用しました。
- 肉厚のバルーンにより安定した吐出圧力と流量を実現しました。

高度管理医療機器 一般的名称:加圧式医薬品注入器

医療機器承認番号:21400BZZ00497000 販売名:クーデックバルーンジェクター

化学療法分野の加圧式医薬品注入器の市場について

加圧式医薬品注入器
144万個(41.2億円)中、
22.3%が化学療法に
使用されています。



出典:「2010年版汎用品市場の将来展望」
(矢野経済研究所)

がんの死亡者数は年々増加し35.2万人で、
全死亡者数の占める割合は約30%です。

人口動態調査:厚生労働省

化学療法の重要性はますます増加しています。

新たに化学療法分野に参入することで、
疼痛緩和と合わせてがん関連での
ポジション強化を図ります。

出典:「2010年版医療機器・用品年鑑」
(オールアンドデイ)

当社は化学療法分野未参入



商品開発研究所(大阪府和泉市)

本資料及びIRに関するお問合せ先

大研医器株式会社
管理本部 財務・経理グループ

TEL 06-6231-9917

URL <http://www.daiken-iki.co.jp/ir/>

本資料における将来の予想等に関する各数値、戦略等は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。